

### 1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	Sustainable Tourism I		( TCR224 )
講義名 (コード)	TCR_Sustainable Tourism I_A		( TCR224A )
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	飯田 誠一	時間数	30
成績評価教員	飯田 誠一	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。	授業形態	講義

### 2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力および専門力におけるサービス分野の学びの中で、自国と他国の風土を理解した上で、ホスピタリティとサステナビリティの体系的習得と実践を行う。サステナビリティの理解とホスピタリティの発揮が求められる各業界や企業において、現場で具体的なアクションや提案ができるようになる。
全体の内容と概要	SDGsに対する理解を深め、ホスピタリティが求められる業界・職種・シーンにおいて、サステナビリティ、ビジネス、顧客満足のバランスが取れたコミュニケーションが取れるよう講義と演習を行う。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	授業スケジュールと内容は、祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

#### 4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	SDGs サステイナブルツーリズムについて調べ理解することができる。	オリエンテーション SDGsについて理解する。サステイナブルツーリズムとは何か
2	SDGs について知識を深める	SDGs についてさらに理解を深める
3	持続可能な開発とサステイナブルツーリズムを知る	持続可能な開発という概念の発祥を知る
4	持続可能な開発とサステイナブルツーリズムを知る	観光産業の拡大と持続可能な開発
5	持続可能な開発とサステイナブルツーリズムを知る	地球サミットからグリーンエコノミーへ：観光への期待
6	日本の世界遺産とSDGs について調べる。	日本の世界遺産とSDGsについて調べる。チームごとにわけて調べる（25箇所の世界遺産）
7	日本の世界遺産とSDGs について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
8	日本の世界遺産とSDGs について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
9	日本の世界遺産とSDGs について発表ができる。	日本の世界遺産とSDGsについて発表をする。
10	サステイナブルツーリズムの概要を知る	サステイナブルツーリズムの定義と原則
11	サステイナブルツーリズムの概要を知る	サステイナブルツーリズムの適用範囲
12	サステイナブルツーリズムの概要を知る	サステイナブルツーリズム実現を補完するツール
13	サステイナブルツーリズムの概要を知る	サステイナブルの実践者 サステイナブルツーリズム実践の課題
14	期末試験	サステイナブルツーリズムについての問題
15	振り返りとまとめ	振り返りとまとめ

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	プリント
参考文献・資料等	サステイナブルツーリズム （晃洋書房）富稿 亜矢子著
備考	